

追跡!

あじゃあどげなった?

「再生可能エネルギーの地産地消を推進」 「奥出雲電力株式会社」設立から第3期

平成28年6月28日、奥出雲町と民間事業者（パシフィックパワー（株）（東京都））との共同出資による電力小売会社「奥出雲電力株式会社」が設立されました。再生可能エネルギーの地産地消を推進し、エネルギーコストの地域循環による地域経済の活性化を目的にしたものです。このたび第3期決算を迎えたことからその状況を追跡しました。

第3期は、仁多発電所（三成美女原）や三沢発電所（河内）等の電力を買い取り、設立後初めて年間を通じた電力供給が行われ、売上高は1億1,730万円となりましたが、厳冬と猛暑の影響により市場価格が暴騰し、調達コストが膨らんだことで、営業利益は367万円の増収減益となっています。

安価な電力を地域に供給することで、電力コストの低減が図られるメリットがあり、現在、町の庁舎や学校などの公共施設をはじめ第三セクターの奥出雲椎茸（有）や民間事業所にも拡大され、その電力供給契約件数は91件に上っています。

ちなみに、町の公共施設においては、電気代が867万円削減（中国電力対比）されています。

今後も新規顧客開拓と顧客満足度向上に努めながら、地域循環による一層の地域活性化が進むことを期待します。

あじゃあどげなった?

奥出雲電力からの供給で コスト削減が見込める施設と その理由

☆削減が見込める施設

- ・ 負荷率が概ね20%以下の施設。
（平均電力は低いが最大電力は高い施設ほど削減効果が高い。）

☆削減できる理由

- ・ 基本料金と従量料金の設定が中国電力と異なるため。
奥出雲電力の方が中国電力に比べて
基本料金—安い
従量料金—高い

例) 高压電力の契約の場合

	中国電力	奥出雲電力
基本料金	1220.40 円/kw	522.90 円/kw
従量料金	13.37 円/kwh	17.47 円/kwh

